

柳田国男国語学関係著述論文目録

林 謙 田 久 子 大 共編

はしがき

一、この目録は、故先生の単行の著述および雑誌その他に掲げられた文章で、国語および国語学に関係するものを、発表年時の順に排列したものである。

二、この目録は、主として水木直箭氏の「柳田先生著述年譜稿」にもとづいて作成した。国語に関するものをできるだけ掲げようと努めたが、なお、抽きもらしたものがあられるかもしれない。

三、著述論文は、年ごとに発表の月の順に掲げた。雑誌に連載されたものは、その年の第一回の発表にまとめた。

四、題名に「」をつけたものは単行本である。題名の下の（）は、その文章を収めた単行本の書名または叢書名、また（）の中に「」で示すのは、著しい改題名である。

五、雑誌・新聞・月報等に掲げられたものについては、それぞれの名を示し、単行本については、発行所を（）の中にしるした。

六、雑誌等の名の下に示す漢数字は、号または巻ノ号である。号数と月とが一致しないものは、各号の下に洋数字で月を示し

た。単行本についても同様、洋数字で刊行の月を示し、新聞は、11・23のように・の下に日を示した。単行本に再録された文章には、往々追記があるが、その年月は省略した。

明治四十三年

地名雑考（地名の研究）

神籠石に関する地名（石神問答）

地名雑考（地名の研究）

歴史地理 十五ノ二

” ” 十五ノ三

” ” 十五ノ四 十六ノ一

一七 二八 五十一 六十二

明治四十四年

矢立峠（地名の研究）

地名雑考（ ” ” ）

名字の話（地名の話その他）

考古学雑誌 一ノ九五

歴史地理 十八ノ一七

斯氏家庭 二ノ七、九、十、

十一

明治四十五年（大正元年）

地名の話（地名の研究）

地学雑誌 二四ノ二八 六一〇 二

八七 一七 二八 八十二

大正二年

地名雑考 (地名の研究)	歴史地理	十九ノ一
中ナカ (")	郷土研究	一ノ一三
常陸の下館 (")	"	一ノ四六
地名雑考 (")	歴史地理	二十ノ二八
竹の花 (")	郷土研究	一ノ七九
八景坂 (")	"	一ノ九一
大正三年		
堀ノ内 (地名の研究)	郷土研究	一ノ十一
根岸及根小屋 (")	"	一ノ十二
新潟及び横須賀 (")	"	二ノ一三
土居の昔 (")	"	二ノ四六
鉦打旧住地 (")	"	"
タウボシ田と云ふ地名	"	二ノ五七
大神に因ある地名	"	"
京丸考 (地名の研究)	"	二ノ六八
大正四年		
金子屋敷 (地名の研究)	郷土研究	二ノ十一
田代と軽井沢 (")	"	二ノ十二
大正五年		
多々羅と云ふ地名 (地名の研究)	郷土研究	四ノ一四
破魔射場と云ふ地名 (")	郷土研究	四ノ七〇
大正六年		
垣内と谷地 (地名の研究)	郷土研究	四ノ十二三
大正七年		
だりと云ふ地名 (地名の研究)	土俗と伝説	一ノ一八

地名の当て字	土俗と伝説	一ノ一八
丘と窪地の名 (地名の研究)	"	一ノ三〇
うだ・むだ (")	"	"
ぐり (")	"	一ノ四一
大正八年		
小さな手帖から(一) (秋風帖「向小多良」)	同人	三五五

大正十年		
琉球語と内地語 (談)	長崎新聞	2・26
大正十四年		
当面の国際語問題 (一) (二)	大阪朝日、東京朝日新聞	10・6、8

宮古群島のアヤゴ (民謡覚書)	民族	一ノ一一
大正十五年		
新年号の誤植	東京朝日新聞	1・3
地名考説 (地名の研究)	民族	一ノ四五、五七、六九

昭和二年		
国語の管理者	新政	1
文章対社会	東京朝日新聞	1・7
地名考説 (地名の研究)	民族	二ノ三三
蝸牛考	人類学雑誌	四二ノ四、五、六、七

改訂されて、昭和五年の単行本となった。

方言と昔 (一―廿九) (方言と昔他)	アサヒグラフ	八ノ十五、二二、十六、九ノ一、十七、四、十
---------------------	--------	-----------------------

私生児を意味する方言
私生児の方言

童の方言など (野草雜記)

梟の啼声 (野鳥雜記)

末子を意味する方言 (方言覚書)

小さき者の声 (小さき者の声)

蟻螂考 (西は何方)

産婆を意味する方言

昭和三年

虫の名の方言

方言の小研究 (方言覚書)

玉蜀黍と落椒 (方言覚書)

雀をクラといふこと (野鳥雜記)

方言研究の意義

虎杖と土筆 (野草雜記)

野鳥雜記 (野鳥雜記)

昭和四年

野の言葉 (家閑談「オヤと労働」)

唾を (方言覚書)

家名小考 (家閑談)

昭和五年

初からず (野鳥雜記)

新生の国語協会に

野草雜記(一) (野草雜記「蒲公英」)

民族 二ノ四 5

民族 二ノ五 7

地上楽園 二ノ七

家の光 三ノ八

民族 二ノ六 9

信濃教育 四九一 9 四九三 11

土のいろ 四ノ四 9

民族 三ノ一 11

民族 三ノ二 1

民族 三ノ三 3

民族 三ノ四 5

南島研究 5

信濃教育 五〇〇 6

民族 三ノ五 7

アルト 四八五 9 六 10

農業経済研究 五ノ二 6

岡山文化資料 五 7

東筑摩郡家名一覽 12

大阪朝日新聞 一・三

東京朝日新聞 一・15

じぎやう 九ノ二、三、四、五

語音変化に関する研究 (西は何方「虹の語音変化など」)

阿也都古考 (方言覚書)

野鳥雜記(一) (野鳥雜記「絵になる鳥」)

「蝸牛考」(言語誌叢刊)

人類学雜誌に出たものに、全体にわたって筆を加えたもの

風位考資料(一) (二) (風位考資料)

九州の鳥 (野鳥雜記)

地名の話

昭和六年

風位考資料(四) (風位考資料)

鍋墨と簾と入墨 (方言覚書)

音訛事象の考察(一) (二) (西は何方「西はどつち」)

採集と観測 (方言覚書)

採集者と話主

ヅグリの事その他 (方言覚書「ヅグリといふ独楽」)

南佐久那方言集序言 (方言覚書)

牛言葉 (方言覚書)

世間話の研究

短歌月刊 二ノ七

音声の研究 三 3

土の香 二十五

(刀江書院) 7

愛媛県周桑郡郷土研究彙報 二八三 9 五 11

九州民俗学 特輯号 10

彰風会報 二四 12

愛媛県周桑郡郷土研究彙報 八二 十一 5

信濃教育 五三四 4

方言 一ノ一 9 二 10 三 11

国語教育 十六ノ九

尾張の方言 9

むつ 二 10

方言 一ノ三 11

国語教育 十六ノ三 11

綜合チャーターナリズム講座 11

(内外社)

11

77

昭和七年

桑の実(西は何方)

宝島方言集序(方言覚書)

地名の話

対馬北端方言集序(方言覚書)

山民語彙(一)(二)

癩癩の方言

なぶさ考(西は何方「青大将の起原」)

石見方言集序(方言覚書)

地名の話(上)(下)(地名の話その他・地名の研究「地名と地理」)

地理学評論 八ノ五、六

山村語彙

山林 五九六、五九七、五九八、五九九、六〇〇、六〇一

蜘蛛及び蜘蛛の巣(西は何方)

更級郡方言集(方言覚書)

ばいたまといふ風の名のお話

「山村語彙」

昭和八年

農村語彙(アーカ、キース、スーテ)

農業経済研究 九ノ一、二、四

「地名の話その他」

方言(岡書院) 1

方言(岡書院) 1

方言(岡書院) 1

種子島方言集序

「小さき者の声」(玉川文庫39)

漁村語彙(一)(四)

何の為に方言を集めるか

「地名の研究」(文部省主催郷土教育講演集)

北海道の方言(方言覚書)

児童語彙(一)(四)

昭和九年

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

方言(三ノ三)

毛虫と松毬

鳥の名と昔話(野鳥雑記)

地名と歴史(地名の研究)

「新語論」(国語科学講座Ⅶ国語方言学)

増補して昭和十一年の「国語史新語篇」となった。

山村語彙統篇(一)〜(四)

村莊閑話

昭和十年

農村語彙(ナーホ)

「山村語彙統篇」

片言と方言(国語の将来「国語教育への期待」)

方言心覚え(方言覚書「故郷の方言」)

土佐の方言序(方言覚書)

家具に関する日本語(方言覚書)

感動詞の歴史(「」)

子供と言葉(「)(三)国書房版 小さき者の声)

鳥の名と昔話(野鳥雑記)

国語教育への期待(国語の将来)

方言 四ノ六

野鳥 一ノ二六

愛知教育 五五九七

(明治書院) 7

山林 六二一八 六二二九 六二二

三三〇六 三四一一

国語(国語科学講座月報) 十

一 12

農業経済研究 十一ノ一

(大日本山林会) 1

方言 五ノ五

兵庫県民俗資料 十七五

土井八枝「土佐の方言」 5

ことばの講座2(日本放送出版協会) 5

「」

愛育 一ノ一七 二八

野鳥 二ノ八

方言 五ノ十

「産育習俗語彙」

「風位考資料」

昭和十一年

農業と言葉

国語の成長といふこと(国語の将来)

「地名の研究」

方言覚書

野草雑記(野草雑記)

祭礼名彙と其分類

江戸言葉の味

アテヌキといふ地名

テルテルパウズについて(小学国語読本総合研究巻二1)

「国語史新語篇」

昭和十二年

幼言葉分類の試み(三)国書房版 小さき者の声)

愛育 三ノ一、二

「婚姻習俗語彙」(大間知篤三共著) (民間伝承の会) 3

「昔の国語教育」(国語の将来) 岩波講座国語教育 7

「分類農村語彙」 (信濃教育会) 7

オカウバリ(方言覚書) 東京朝日新聞 8・28

長門方言集序(方言覚書) 重本多喜津「長門方言集」12

昭和十三年

服装語彙分類案

(愛育会) 10)

(国学院大学方言研究会) 12

農業●経済 三ノ一

ローマ字世界 1

(古今書院) 1

近畿民俗 一ノ二四

短歌研究 五ノ四

民間伝承 十一ノ七、十二ノ八

東京朝日新聞 7・29

民間伝承 二ノ二一〇

岩波講座国語教育 1

(刀江書院) 12

「禁忌習俗語彙」

(国学院大学方言研究会) 4

「服装習俗語彙」

(民間伝承の会) 5

妖怪名彙(一)(内)

民間伝承 三ノ十六十一・七十一

二八四ノ一九二二

国語に対する山本有三氏の意見について

文学 六ノ七

東条操著「方言と国語学」(老読書歴)東京朝日新聞 8・1

敬語と児童(国語の将来) 国語・国文 八ノ十

方言の成立(一)〃〃 (安藤教授選歴記念論文集)10

キミ・ボク問題 (一)一(三) (標準語と方言)

東京朝日新聞 11・6〃8

「分類漁村語彙」

(民間伝承の会) 12

昭和十四年

草の名と子供(一)(内)(野草雜記)

愛育 五ノ一、二、三、四、

五、十

鴨と哉(国語の将来)

言語研究 一1

「歳時習俗語彙」

(民間伝承の会) 1

語形と語音(国語の将来)

国学院雜誌 四五ノ二

談雀(野鳥雜記)

俳句研究 六ノ二

妖怪名彙(内)

民間伝承 四ノ六三

国語の将来(国語の将来)

国学院雜誌 四五ノ五

「居住習俗語彙」(山口貞夫共編)

(民間伝承の会) 5

忌言葉

月明 二ノ七、八

翻訳は比較(アナトールフランス短篇小説全集予約募集)

(白水社) 8

「国語の将来」(創元選書25)

(創元社) 9

ちからの語義

帝国大学新聞 10・23

国語に就て(座談会)

批評 一ノ二二

言語生活の指導に就いて(標準語と方言)

コトバ 一ノ三二

昭和十五年

照譚日録(方言覚書)

科学知識 二十ノ一

話せない人を作る教育(標準語と方言)

コトバ 二ノ三

沖繩の標準語教育

月刊民芸 二ノ三

東京語批評

「標準語と国語教育」(岩波書

店) 9

方言問題の統一(一)一(三) (標準語と方言)

朝日新聞 10・15〃17

「野鳥雜記」

(甲鳥書林) 11

「野鳥雜記」

(〃〃) 11

東京語と標準語(標準語と方言)

コトバ 二ノ十一

昭和十六年

歌と国語(標準語と方言)

短歌研究 十ノ一

現下の国語問題座談会

放送 十一ノ一

日本の言葉

創元 二ノ二

日本方言学会設立にあたりて(標準語と方言)

方言研究 二2

「分類山村語彙」(倉田一郎共編)

(信濃教育会) 5

標準語について

方言研究 三6

標準語と方言 (標準語と方言)

(国語文化講座1 国語問題篇)

喜界島方言集を第一編とした理由

標準語について

ことわざ採集の要領

昭和十七年

和州地名談

大隅肝属郡方言集に題す

歌と国語

「方言賞書」(創元選書90)

食物名彙

話題集(買物言葉)(毎日の言葉)

食料名彙

肩車考(一)~(三)(三國書房版 小きき者の声)

「増補風位考資料」

毎日の言葉(一)~(四)(毎日の言葉)

「小きき者の声」(女性叢書)

昭和八年の玉川文庫の本に加除がある。

昭和十八年

ブランコの話(少年と国語)

(朝日新聞社) 7

「喜界島方言集」(中央公論社 全国方言集一) 8

新若人 二ノ十

民間伝承 七ノ二二

「奈良叢記」(駸々堂 1)

「大隅肝属郡方言集」(中央公論社 全国方言集二) 4

短歌研究 十一ノ五

(創元社)

民間伝承 八ノ二六

” ” 八ノ三七

” ” 八ノ三七 四八 五九

六 十 七 一 一 八 一 二

民族文化 三ノ七、八、九

(明世堂)

婦人公論 二七ノ九、十、十一、十二

(三國書房)

11

日本の子供 1

手拭沿革

民間伝承 八ノ九 一 十二 十一

3 十二 4 二八ノ一、二、三、四、五、六、七

毎日の言葉の終りに(毎日の言葉)

「蝸牛考」(創元選書104)

朗読文学の為に

教育と国語国策(一)~(三)

「族制語彙」

昭和十九年

あいさつの言葉(一)~(三)(毎日の言葉)

女の名(毎日の言葉)

昭和二十年

母の手まり唄(村と学童・母の手毬唄)

「村と学童」

昭和二十一年

蟻地獄と子供(一)~(三)(西は何方)

” ” (三) (一) ”)

ボクとワタクシ(新版毎日の言葉)

謎と諺

国語成長の楽しみ(一)(少年と国語)

「毎日の言葉」(創元選書)

民間伝承の上、薦、御方の推移、ウバも敬語、の三編も、先立って収められている。

婦人公論 二八ノ一、二、三、四、五、六、七

婦人公論 二八ノ八

(創元社) 2

文学十一ノ四

教育十一ノ四、五、六

(日本法理研究会) 5

民間伝承 十ノ三、四、五

” ” 十ノ六

週刊少国民 四ノ一

(朝日新聞社) 9

中界速報 1 2 3 4 5 6 7 8

虫・自然 十五 11

赤とんぼ 一ノ一 5

教育改造 一 六 二 七 三 八 四 9

女性線 一ノ四 六 五 9

(創元社) 7

生れる言葉

女の名(毎日の言葉「上藤」)

御方の推移(毎日の言葉)

昭和二十二年

花とイナウ(一)(神樹篇 柳田国男先生著作集第十二冊)

文章革新の道(上・下) 夕刊新大阪 1・8 9

当用漢字と現代かなづかい(座談会) 人間 二ノ二

フコの文学 芸術 三4

蟻地獄と子供(西は何方) 虫・自然 十六5

「分類農村語彙増補版(上)」 (東京堂) 5

ウバも敬語(毎日の言葉) 民間伝承 十一ノ四・五6

赤とんぼの話 赤とんぼ 二ノ六

国語史の目的と方法(標準語と方言) 日本という言葉 一ノ三8

山バト家バト(少年と国語) 子供の青空 9

「地名の研究」(柳田国男先生著作集第二冊) (実業之日本社) 10

昭和二十三年

「西は何方」 (甲文社) 6

狸とムジナ 上毛の民俗 一8

孫たちへの話(少年と国語「クシャミのこと」) 心 一ノ五11

思想の科学 三ノ九11

学問用語の改良 方言と民俗学 一11

国語教育の急務 (東京堂) 12

「分類農村語彙下巻」

昭和二十四年

話し方と読み方 教育復興 二ノ一

「分類児童語彙上巻」 (東京堂) 1

国語教育とコトバ教育批判 教育 三ノ二3

「標準語と方言」 (明治書院) 5

国語検定教科書を監修して 東書月報 一6

「言葉のいろいろ」(ワールド文庫4) (蓼科書房) 6

これからの教科書(座談会) 教育復興 二ノ五7

文体の歴史 朝日出版月報 二十10

話の語 信濃教育 七四八12

昭和二十五年 (朝日新聞社) 1

「方言と昔他」(朝日文庫9) 近畿方言 一3

近畿方言学会の復活に寄せて (朝日新聞社) 1

昭和二十六年 民間伝承 十五ノ三

北海道古称 朝日新聞 7・4

思い言葉 民間伝承 十五ノ三

「毎日の言葉」(創元文庫後に角川文庫)(創元社) 9

日本語をどうするか(座談会) 言語生活 一10

速記と国語改良 日本の速記 三三ノ十一

言語生活(国語教育講座第一巻言語生活上) (刀江書院) 9

はなしことば()

昭和二十七年 民間伝承 十六ノ一

母語と人生

昭和二十七年

母語と人生 民間伝承 十六ノ一

どうもありがたう(新版毎日の言葉) 言語生活 七.4
 人の名に様をつけること() " 八.5
 あたまを掻きつつ(少年と国語)「ウロコとフケ」 " 十.7

古典と国語

日本における新造語の問題

実地の国語教育

「なぞとことわざ」

昭和二十八年

日本語の造語力

国語教育の古さと新しさ

国語史のために

日本語のふるさと

「国語の将来」(創元文庫)

単語の年齢と性質

耳の国文学(上)

ゴザルからデスへ

昭和二十九年

耳の国文学(下)

昭和三十年

国語講座によせて

総合日本民俗語彙序

国語の進むべき道

「古典の新研究」(角川書店) 11
 文学 二十ノ十二
 国語研究 一.12
 (筑摩書房) 10

教室の窓 二ノ一

教室の窓臨時増刊 二ノ八.6

国語学 十二.7

言語生活 三五.8

(創元社) 9

言語生活 二七.12

いづみ 五ノ十二

「改訂新しい国語中学校三年用」(東京書籍)

いづみ 六ノ一

NHK国語講座 一ノ一.5

「総合日本民俗語彙 第一巻」

(平凡社) 6

教室の窓 四ノ九.7

昭和三十一年

日本の言葉

新版「毎日の言葉」(創元選書)

「妖怪談義」

昭和三十三年

「少年と国語」

国語研究者に望む(談)

昭和三十六年

豊かな国語のために

I ZUM I 一四四一五.6

(創元社) 7

修道社 12

(創元社) 7

言語生活 六七.4

言語生活 一一.10